平成２６年度　　防災学習

平成２７年１月１４日（水）の５・６校時を使って、全校生徒で防災学習を実施しました。

５校時　　２０年前の阪神･淡路大震災をＤＶＤの映像を通して振り返り、常に安全について意識し、防災について具体的に学ぶ中で、防災意識を高め、非常災害時に自ら考え、かけがえのない命を自分で守る力を養うことの大切さについて学習しました。

＜２０年前の映像を通して防災について具体的に学習＞

☆　次のようなワークシートや資料で学習しました。

自分の命は自分で守る

阪神・淡路大震災　　発生日時　　年　　月　　日　　時　　分
　　被害　　死者　　人
　　住宅被害　６４万棟
　　被害総額　９兆９２６８億円

～住まい・暮らしの備え～

家具の安全

①机を固定することで一時的な
　（　　）代わりになる
②吊り照明は（　　）などで固定
③薄手のカーテンにより（　　）
　を防止
④棚に（　　）をつけることで中の
　物が飛び出すのを防ぐ

家具の配置

①倒れても（　　）が確保できる
　位置
②家具の横で（　　）ことで家具の
　下敷きにならないようにする
③家具が倒れても下敷きにならないく
　らい（　　）を開ける
④家具が倒れても下敷きにならないよ
　うに（　　）などを置く

☆考えよう

１．家の中で地震が発生した時の動き

※ガスを使っていればガスの元栓を閉める
　窓、ドアに近い場合は窓、ドアを開ける
①（　　）の下にもぐり、身の安全を守る
②揺れがおさまるのを待つ
③揺れがおさまったら、周囲の安全を確認する
④落ち着いて（　　）に避難する

２．普段からできる備え

○身の周りの（　　）を確認しておこう
○家族と確認しておこう
　・（　　）
　・地震が起きた後の（　　）
　・地震が起きた後の（　　）
　・地震の時に必要なもの
○家の中や周りの備え
　・（　　）の固定
　・非常用の持ち出し品・備蓄品の用意
○避難訓練

３．非常用持ち出しチェックリスト

※避難時にあった方がいい物、身を守るために必要な物を考えて備えておこう。

※すぐに自分で備えることができるものには青でチェックをつけよう。
　家族で話をして用意できるものは赤でチェックをつけよう。

（日本赤十字ホームページより）

４．笹原中学校区内の避難場所

※自分の家から近い避難所にチェックを入れてみよう。

笹原小学校地区

笹原小学校
笹原中学校
ささはら幼稚園
あすなろセンター
安堂寺センター
南野センター
車塚センター
西保育所
笹原公園（収容施設なし）

摂陽小学校地区

摂陽小学校
西中学校
せつよう幼稚園
ひかり保育園
人権啓発センター
美鈴センター
よつばセンター
せつようセンター

６校時　これまでに生徒会や吹奏楽部が行ってきた追悼行事や東日本大震災復興支援の取り組みを報告しました。また、ろうそくを灯す昆陽池公園の追悼行事の意味を改めて確かめ合いました。その後、教室に戻り、全校生徒がそれぞれに思いを込めてろうそくに言葉を書きました。

＜吹奏楽部の演奏
復興支援ソング「花は咲く」＞

＜昆陽池公園での追悼行事の様子＞

＜生徒会からのメッセージ＞
「全校生でろうそくに込められた意味を知り、『思いの灯火リレー』の取り組みを通して、命の大切さを考えよう。」

阪神淡路大震災の翌年から、伊丹市の昆陽池公園で行われてきた追悼行事「あなたの思いを灯してください　～失った命の数をロウソクの灯火に込めて～」は伊丹市のボランティア団体「ユー･アイ･アソシエーション」（赤松弘輝代表）が続けてこられた事業です。伊丹の全中学校の生徒でこの事業に協力してきました。次のようなワークシートでメッセージを考えました。

あなたの思いを灯してください

～失った命の数をろうそくの灯火にこめて～

この追悼セレモニーで使われているろうそくは、１９９６年、第１回で使用されたものをもう一度再生し、何度も継ぎ足され、「思いの灯火リレー」として受け継がれてきています。今回、皆さんに書いてもらうろうそくも、たくさんの方々の思いがこもっている再生ろうそくです。皆さん一人一人の思いをしっかり込めて、メッセージを書いてください。

世界中で多くの命が 日々失われています

命の灯火を絶やさないために

「誰かのことを思う日」として

ろうそくに書くメッセージ